

モデル酪農経営を見る

青森県における飼料栽培と経営

青森県酪青研委員長 原 育

はじめに

青森県の酪農は県の東北部、南部、中部、西部地方に大別されるが、乳牛の飼養管理技術の向上に伴い、冬期の貯蔵飼料としての根菜の給与が年々増加し、最近では西部の津軽地帯ではリンゴ粕、またはリンゴそのものの飼料としての利用が進められ、かなりの量が乳牛に与えられており、カブに代る多汁質飼料として、重要なものとなっている。中・南部地帯は特に集約化された経営であるため、カブがその主体となっており、飼料用根菜としては、家畜ビートの占める割合は「五分程度であるが、いざれも重要な冬期飼料として必ず与えられてい

る。東北部地帯は山間丘陵の台地が南北に連なり、前には北部バイロットファームが設定されて以来、酪農を主体とした経営が行なわれ、青森県における純酪農地帯として基盤の拡大、多頭化の方向に進んでいる。この様な專業的な経営によって、乳牛の飼養管理もそれに伴い単純な中にも充分な基礎飼料の給与が行なわれ、泌乳量も年毎に増加してきているが、その最も大きな原因となるのはやはり冬期間の飼料の良質なものを充分給与出来る段階に至った事と言うまでもない。その中でもやはり根菜の占める割合は大きく、従来の「牛には水を食わせる」方式の多汁質飼料から、牛が飼料を食い、第一胃の機能の働きの中でのい

わゆる低脂肪酸のバランスを正常に保ち、飼料の消化吸収を行なわせる為には、絶対に欠かすことのできない飼料としての重要性が再認識されてきている事であつてその観点からも、今後共根菜は必ず給与されなければならない重要なエサである事を考慮したい。

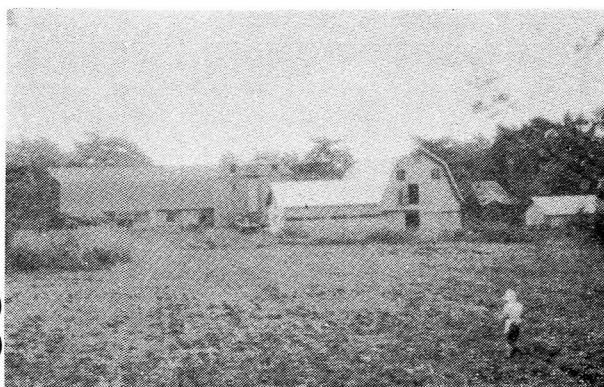
私もこの考え方の上で飼料栽培の計画をたて、現況から更に次の段階へ向って経営を進めている者です。

飼料の給与について

多頭数飼育になればなる程、個体の能力を上げなければ安定した経営は望むべくもないのです。夏期青草期に於いては、



住宅（約44坪）



畜舎・サイロの全景



家畜ビートの圃場

そう無理をしなくとも一頭一日二〇キログラム程度の産乳は期待できるが冬期間は、何としても根菜を中心にして飼料の給与がなされなければ多くの乳を搾る事はできず、なかなか健康な乳牛、長命連産につながる乳牛の育成は出来ない。ただ、家畜ビートも貯蔵できる時期は当地方においてはせいぜい三月下旬までであって、その後は家畜カブを給与し、春の青草期を迎える様な方法を取っている。

私は今後も冬期間は家畜ビートを主体とした根菜の給与を実施し、冬期産乳を高め努力したいと考えている。
その為にはやはりデントコーンの栽培も

必要と思われるが、コーンも最近では一〇kg当たり一〇kgは充分見込まれる様になつたので、牧草、コーン、根菜共にその収量最底線を一七kgに置き、良質飼料の確保に万全を期したいと思っております。

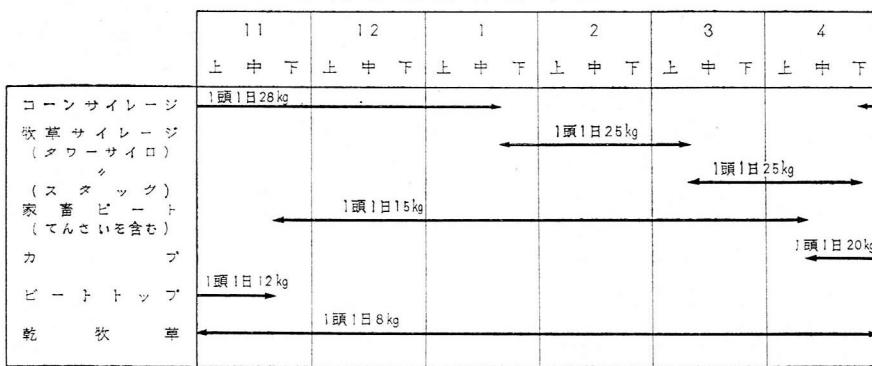
現在の頭数に必要な基礎飼料は、その生産される堆肥によって地力の維持増進がみられ、購入肥料は一〇kg当たり二、四〇〇円余で充分生産されており、これを五六〇%多く施用することで一〇kg以上の生産は確実に見込まれる。

労働力について

現在は三・三人の労力であるが、昨年までは母と妻の二・三人の労力であった。母は大半家事と野菜畑の管理、妻は母と同じ仕事

私と実習生は牛舎作業、畑作業が主体であるが、昭和三十五年に当組合に設けられたトラクターセンターの機械利用によって農耕作業を始め、牧草の播種作業の全部、刈取り、ペール、追肥、堆肥の運搬散布

冬期基礎飼料給与表



冬期乳量及乳飼比

	11月			12月			1月			2月			3月			4月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
乳量(kg)	1,823.5	1,918.0	2,040.5	1,703.5	1,719.0	1,898.0	1,729.5	1,846.5	2,155.5	2,307.0	2,258.0	1,969.0	2,194.0	2,142.0	2,162.5	1,777.5	1,688.0	1,689.0
乳脂率(%)	3.55	4.1	4.15	4.25	4.3	4.35	4.25	4.0	4.0	4.1	4.2	4.0	3.9	3.7	3.8	3.8	3.8	3.75
搾牛乳頭數	10	10	11	11	11	11	11	12	13	14	14	14	14	13	13	12	12	12
1頭1日 当産乳量(kg)	17.9	19.2	19.9	15.5	15.6	17.3	15.7	15.4	16.6	16.5	16.1	14.1	15.7	16.5	16.6	14.8	14.1	14.1
濃厚飼料費(円)	43,450			55,400			58,773			61,066			57,656			54,293		
乳代(円)	217,248			249,953			273,069			295,872			276,396			223,594		
乳飼率(%)	20%			22.1%			21.6%			20.6%			20.9%			24.3%		

濃厚飼料は乳配、スマ、大麦引割、アマニ粕、王蜀黍引割、カルシウム、塩、魚粕